



無所属クラブ 杉本 信之 議員

- ①ごみ処理について
 - (1)減量化、資源ごみ、プラスチックについて
 - ②水田農業の今後について

質問① ごみ減量を推進しているが実績はどうか。資源ごみは正しくリサイクルされているのか。アルミ缶は1kg110円で売れるが、スチール缶との混合だと1kg3.5円となる。分別すべきではないか。一升ビンも砕いているが、※リターナブルとすべき。プラスチックもスーパーではトレーを回収している。その他のプラスチックも分別すれば資源となるので分別すべきではないか。無償で配布している有害ごみの黄色の袋は利用頻度が低いように思う。透明

※リターナブル…リサイクルのため返却・回収できること。

袋を認めるか、地区市民センターや小学校などでの拠点回収だけに切り替え、なくしてもよいのでは。

答弁① ごみは平成18年度は78,000トンで前年より約50トン減少した。収集は分別を細かくすると経費がかかる場合がある。ペットボトルは19年度は1kg40円で有償取引した。有害ごみ袋は大小3枚ずつ8万セットで203万円かかるが、廃止は考えていない。

質問② 国からの生産調整に追われるのではなく、鈴鹿市独自の事業政策を出すべき。米の消費拡大や地産地消を推進して水田を守っていかなければならない。バイオマスなども検討すべきではないか。

答弁② 集落営農組合などを育成し、担い手の確保に努める。直売所の支援もしていく。



日本共産党 石田 秀三 議員

- ①西部地域の主要道路について
- ②市長の退職金について

質問① 鈴鹿市の背骨と位置づけられる道路、県道神戸長澤線(中央道路延伸)の鈴鹿インターチェンジまでの4車線化が、非常に遅れている。また国道306号線伊船バイパスも、計画以来15年たつが開通していない。完成予定はいつごろか。

答弁① 早期完成を三重県に強く要望しているが、予算が厳しく神戸長澤線の完成には相当の時間がかかる。306号線については、鈴鹿インターまでの開通に今後少なくとも3年はかかる見通しである。

質問② 昨年市長に、1期分の退職金1,900万円が支給された。このような高額退職金は、今後廃止すべきである。

答弁② 前期に1割削減し、支給率は県下最低なので、廃止は考えていない。



国道306号線(伊船町地内)



日本共産党 森川ヤスエ 議員

- ①審議会等について
- ②生活保護行政について
- ③入れ歯回収ボックスの設置について

質問① 審議会等の委員の構成人数は審議の結果に影響を及ぼす。団体枠等で委員が過度に結果を導き出す方向での偏りにならないか。審議の透明性のため担保が必要。情報の開示のあり方は。

答弁① 現在の委員会の場合はバランスはとれている。また委員会は記名式で発言の内容の公開をするなど、改善すべきところは改善していきたい。

質問② 1日のタクシー代などが1ヶ月の生活費に相当する支出が行われていたが、保護行政は弱

きをくじき強きを助けていないか。※ケースワーカーの研修は、「生活保護は憲法に保障された国民の権利」という視点で取り組むこと。

答弁② どのようなケースにおいても適正に執行することを基本としているが、今回の誤支出は職員の認識不足とチェック体制の甘さが原因である。今後は生活保護受給者の介護タクシー利用について、明確化を図りチェック体制を強化する。様々なケースに対応するため、介護保険制度等の理解を深めるための研修を行っている。

質問③ 不要な入れ歯を回収することで世界の恵まれない子どもたちへの支援を。

答弁③ 社会福祉協議会などと相談をして検討する。

※ケースワーカー…精神的・肉体的・社会的に苦しむ人を個別に指導する人。地域で福祉サービスを必要としている人の相談に乗り、保育所などの福祉施設の入所や生活保護を必要とする人への適用手続きをしたりする。